

# 雪の芸術祭

学校ができた頃は、北陽小学校の周りでも雪がたくさん降っていました。当時は、運動場に積もった雪を利用して、「雪の芸術祭」を行っていました。

右の写真は、昭和53年2月8日に撮影されたものです。この年の6年1組の皆さんが、その頃人気があった「ランボルギーニ・カウンタックLP400」を雪で作りました。



この日の、活動の様子が翌日の新聞に紹介されていました。

**スーパーカーだゾ、SLだゾ!**  
松任市北陽小で雪の芸術大会

ぼくらは札幌の雪まつりに負けないゾーとSLづくりに懸命の児童たちー北陽小グラウンドで

久しぶりに青空のぞいた八日、松任市北陽小学校(西村文雄校長、児童六百八十二人)で雪の芸術大会が開かれ、札幌の雪祭りにならえて、グラウンドいっぱいSL、スーパーカー、ワニ、クジラづくりにチビっ子たちはスコップなどを手に担任の先生たちと制作に取り組み歓声をあげた。これは、同校の児童会と学級会が主体となって計画したもので、同日は六年生がスーパーカー、五年生がSL、四年生がワニ、三年生以下は自由制作で、担任の先生たちの指導で全長七尺余のSLから、かわいいバンダに至るまで全校児童は午前中大作に挑んだ。午後からは、この大作について①創意工夫②協力の仕方③出来栄の審査が行われた。成績次の通り。

◇芸術大賞①二年組(カメ) 三年三組(ワニ) 四年三組(ワニ)

**読売**

松任市北陽小の「雪の芸術祭」

**北陽小で雪の芸術祭**

松任 北陽小(西村文雄校長、児童六百八十二人)は八日、グラウンドで全児童参加の「雪の芸術祭」を行った。あらかじめ学級会で決めていたスーパーカー(六年)、SL機関車(五年)、ワニ(四年)などに取り組んだが、各学年ともすっかり水っぽくなった雪を固めるのに悪戦苦闘。クワやスコップ、竹べらを器用に使い、ワニのキバや機関車の車輪などに細かい芸を披露。正午までに約十名の作品が完成した。

午後から先生、児童らが審査員となり、①チームワーク②完成品のできは③創意工夫とを子エック。いずれも始め芸術品に、審査員も甲つづけたい様子だった。

毎回、素敵な雪像を作ってきた「雪の芸術祭」も、その後、積雪量が少なくなったため、昭和58年度を最後に実施できなくなりました。